

# 旭労災病院ニュース

病院情報誌 第1号 平成17年12月1日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

## 連携ニュース発刊にあたって

院長 大野 良之



今や地域医療の要は病診連携であり、日頃から先生方には大変お世話になっておりますこと、心から感謝いたしております。

今般、新たに「病診連携ニュース」を発刊することにいたしましたので、紙上をかりて、一言ご挨拶申し上げます。

当院は、「最善の医療サービスを最高の誠意と人間愛をもって」という病院理念のもと、救急外来・専門外来・紹介外来を充実させた急性期型病院として地域の中で機能していくことしております。救急外来については、迅速な電話連絡体制や内科系・外科系が常駐する当直体制などによって充実していくことしております。専門外来については、日頃から医師がそれぞれの専門性を高めながら充実させてきております。紹介外来については、医師の顔が見える連携に従来から努力を続けており、連携室にフリーダイヤル電話とファックスの設置や業務時間の午後七時までの延長などの努力をしてきております。今般さらに、医師交代時の迅速な紹介や在籍中の各医師の専門性などの情報を先生方により詳しく知っていただくことが有効な連携にとっては必須・不可欠の情報と考え、この

「病診連携ニュース」を発刊することにした次第です。

昨今の地域医療事情を勘案すると、病診連携の基本理念は患者さん一人ひとりが地域の「かかりつけ医」の機能と「かかりつけ病院」の機能を効率的かつ迅速に利用できる体制を充実することであり、当院の医師(院内主治医)と紹介医師(院外主治医)の間における緊密な報告・連絡・相談(ほうれんそう)によって「患者さんは満足した、先生は紹介してよかった、病院は紹介していただいてよかった」という三者間の連携満足度の向上であると考えております。

この「病診連携ニュース」により先生方との連携がさらに充実し、地域の患者さんに最善の医療サービスが今後とも効率的に当院で提供できることを心から願っております。また、連携における三者間の連携満足度がさらに高まっていく努力を着実に重ねていく所存でありますので、先生方から忌憚のないご意見、ご要望、ご叱責などを積極的にお寄せいただきますよう、この機会にあらためてお願い申し上げます。

# 外科の現況

旭労災病院外科では、ほとんどすべての外科的疾患手術に対して、4人のスタッフで対応しています。行っていない手術は、心臓手術と大動脈手術と移植手術です。全身麻酔は全例が麻酔科医師によって行われます。以下に当院外科での主な手術の術後入院日数、症例数を表にまとめました。

臓器	術式	術後入院日数	特徴	年間症例数
甲状腺	甲状腺全摘	約7日		数例
	甲状腺葉切除	約4日		約10例
乳腺	乳癌手術	約10日		約20例
肺	肺癌手術	10～14日	原則として開胸	約15例
	気胸手術	4～7日	胸腔鏡手術	約15例
食道	食道癌手術	約28日		数例
胃	胃全摘術	約21日		約10例
	胃切除術	10～20日		約30例
大腸	結腸癌手術	14～20日	症例により腹腔鏡	約50例
	直腸切断術	約21日		数例
胆嚢	胆嚢摘除術	約4日	腹腔鏡手術	約50例
肝臓	肝切除術	10～14日		約10例
膵臓	膵頭十二指腸切除術	約28日		約5例
血管	動脈バイパス術	7～10日		数例
ヘルニア	ヘルニア根治術(大人)	約3日	腰麻または局麻	約50例
	ヘルニア根治術(乳児)	1日	一泊二日です。	約10例
虫垂	虫垂切除術	5～7日	腰麻または全麻	約50例
肛門	痔核根治術	約10日		約15例
	痔ろう根治術	4～6日		約15例



外科部長 井垣 啓

ここ数年の外科全般におけるトピックスは、鏡視下手術の導入拡大と、術前術後を含めた進行再発癌に対する抗腫瘍剤による化学療法の進歩です。

鏡視下手術の導入に関しては当科でも導入しており、胆嚢摘出総胆管切開、潰瘍穿孔手術、結腸手術、腸閉塞手術、胃手術、肺手術に行っていますが、技量の確認と患者のメリットの検討を行い安全であることを第一に考え、慎重に行っています。

術前術後を含めた進行再発癌に対する抗腫瘍剤による化学療法の進歩にはめざましいものがあります。乳癌症例はもちろんですが、以前に比

べ、消化器癌でも高い奏功率が得られるようになり、入院及び外来での化学療法の症例が増えてきています。当科でも多数の症例に対し化学療法を施行し、QOLを維持しつつ長期生存や寛解を得ています。緩和医療を含め、手術以外に外科が行うべき医療が増えてきましたが、病診連携を更に密なものとして皆様の役に立ちたいと考えています。よろしくお願ひします。